



国民健康保険 正しい受診で医療費の適正化を

町民税務課 国保年金係 ☎77・3913

病气やけがをしたときに使う国民健康保険の正しい受診方法をご存知でしょうか？正しい知識を身につけて適正な受診をお願いします。

Q & A

Q. 医療費ってなに？

A. 皆さんが医療機関を受診するときにかかるお金を「医療費」といいます。

また、国民健康保険の医療費の主な財源となっているのが国民健康保険税です。医療費が増えると国民健康保険税も増額せざるを得なくなり、家計への負担も大きくなってしまいます。

※(図1) 参照のとおり

Q. 医療費が増えてしまう原因は？

A. 高齢化や医療技術の進歩、生活習慣病の増加や重複・頻回受診、安易な受診などが挙げられています。

Q. どうやったら医療費は減るの？

A. 次のようなちょっとした心掛けが医療費の削減につながる。

ります。

1. 医療機関のかかり方

軽い症状や同じ病気などで、「複数の医療機関を受診する」「休日・夜間に受診する」「最初から大病院を受診する」「医師の指示を守らない」などを行うと医療費を増加させてしまうだけでなく、重複する検査や投薬により体に負担がかかります。

また、同時に医師の負担増加となり、本来に必要な人に医療の手が届かなくなる可能性があります。

※かかりつけ医・かかりつけ薬局を持っていませんか？

体のことを理解している医師がいると安心です。信頼できる身近な医師を見つけ、気になることがあったら最初にかかりつけ医に相談する習慣をつけましょう。

また、かかりつけ薬局を決め

てお薬手帳を利用することにより、薬歴が分かるので重複処方を防ぐことや、飲み合わせなどの服薬の相談もできるようになります。

2. ジェネリック医薬品(後発医薬品)を使いましょう

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、特許期間の過ぎた新薬(先発医薬品)と同じ効果のある処方薬で新薬よりも低価格です。

ジェネリック医薬品に切り替えることで医療費の抑制につながり、医療機関での窓口負担も少なくなる場合があります。医師や薬剤師に相談してみましょう。

3. 体を大切にしましょう

一度生活習慣を見直し、栄養・運動・休養をバランスよく取りましょう。

病気になる前に予防することが最高の治療法かつ医療費の節約法となりますので、病気になる前には生活習慣を心掛けましょう。

(図1) 1人当たりの医療費と保険税額



